



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1878号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352  
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル  
TEL (055) 972-2122  
会長 渡辺 雅晃 幹事 黒田 一



広重版画より 三島 朝霧

## 第1941回例会

2012.7.26晴

### 司会

瀬川幸信君

### ロータリーソング

「それでこそロータリー」  
指揮 三田明宏君

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央RC)

### 会長挨拶

副会長 野田和秀君

副会長に課せられた月1回の会長の代理挨拶の今日は初回です。一年間よろしく申し上げます。

先月の日経新聞のコラム「春秋」に目に留まった文章があり、ちょっと引用させていただきます。「青に見えたり、紫に見えたり。アジサイは咲く場所や時期によって、虹のように色が変わる。(中略)名前では呼べない中間の色合いに、どこまでも続く底知れぬ深さがある。(中略)経営不振が続くある会社で、こんな話を聞いた。頑張れば会社は立ち直るのか、それともこのまま落ちてゆくのか。振り返れば、社員が会社を「うち」と呼ばなくなり、「この会社」と言い始めた時が転落の始まりだったのではないか。人々の顔色は少しずつ変わっていたが、経営者は分岐点のサインに気づかなかった。(後略)」上に立つ者の読み取る力が必要ということか。会社をロータリークラブに置き換えてみては如何でしょうか。入会して間もない会員に、「うちのクラブ」意識を求めるのは野暮でしょう。40周年を迎えたうちのクラブはパスト会長はじめ諸先輩のこの意識は強いと思います。どうか新入会員の皆様の帰属意識の高揚の為、皆様の旗振りをお願い致します。今年度のクラブのスローガンであります「語るロータリー」に沿っていく意味からも。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メンバーアップ	修出席率
前々回	49/53	92.45%	49/53	92.45%
今回	42/52	80.77%	会員総数	54名

欠席者 石井(彰)君、窪田君、栗原君、佐野君、鈴木(郁)君、登崎君、長田君、藤江君、森崎君、渡辺(雅)君

### 幹事報告

幹事 黒田 一君

- ①先週入会の相山豊さんの委員会は社会奉仕委員会で御願ひ致します。西村さんの退会により人数的の関係と行事との流れです。
- ②8月31日(金)高野ガバナーが訪問されます。せせらぎ三島と合同例会となり、例会日、例会場変更です。(例会場ブケ東海三島)三島西ロータリーの会員の皆さんには、是非ご都合を合わせていただき出席をして下さい。
- ③6月の矢岸年度例会にいらした青森県八戸中央ロータリークラブ会長上野さんより、当クラブにバナーが送られて参りました。

2012~2013年度  
国際ロータリー会長  
田中 作次

奉仕を通じて平和を

## おめでとう

会員誕生日 勝間田君、平出君  
入会記念日 橋本君  
奥様誕生日 古川君、関本(文)君、  
野田君

## スマイルボックス

- ◆大房君(せせらぎ三島RC)、三島西RCの皆様、先日のチャリティーコンサートご協力ありがとうございました。支援金24万5千円を有効に使用させていただきます。
- ◆野田君、初めての会長(代理)挨拶です。1年かけてエンジンの調子を上げていければと思います。よろしくをお願いします。
- ◆伊丹君、西RCきっての素敵な女性2名から素晴らしい写真をいただきました。ありがとうございます。澤村康子様、前田房江様、今日は何か良い事がありそうな予感がします。
- ◆石井(良)君、3年ぶりの卓話です。昨日、広報の佐々木さんから明日卓話の原稿下さいと留守電いただいて、さあ、頑張ろうと夜おそくからパソコンに向かったのですが、なでしこの試合を見ちゃいました。佐々木さん、ごめんなさい。
- ◆Aテーブル、7月19日にテーブル会を開催しました。全員参加による有意義で楽しい一時を過ごす事ができました。残金をスマイルします。
- ◆Bテーブル、テーブル会を麒麟にて行いました。ゲストに三田明宏君を迎えおいしい料理を食べながら社会奉仕のこと・青少年奉仕のこと、特に最近の教育について熱く語りました。残金スマイルします。
- ◆Cテーブル、先日19日に「うな繁」さんでテーブル会を開催しました。「土用の丑」の日を前に皆さんで精をつけました。うなぎ高騰の中、リッチなひとときを過ごしました。残金スマイルします。
- ◆Fテーブル、7月20日にテーブル会を開催しました。会長、幹事の参加をいただいて中味のある親睦を深める事が出来ました。

## 卓話

### 介護の現場から

石井良衛君

暑い夏がやってきました。皆さん熱中症予防は、万全ですか？

高齢者は、暑さに鈍感であると同時に成年の3倍もの水分を必要としています。室内だからと油断してはいけません。熱中症は室内でも起こります。水分だけではなく、塩分も必要です。予防には梅干をコップでつぶし水を注ぎ飲むだけでも効果的です。その他では、OS-1という経口補水液が効果的です。これは、薬局で手にはいります。また、水分、ミネラル不足で起こるコムラ返りには、芍薬甘草湯という漢方薬が役立ちます。ツムラの68番と言えば、薬局で通じ手に入ります。

ところで皆さん、今日の昼食は何を食べましたか？何を食べたか覚えていないのは、誰でもあることですが、認知症の方は、食べたことすら忘れてしまいます。認知症には、アルツハイマー性認知症、レビー小体型認知症、脳血管障害がもたらす認知症と色々な種類がありますが、現在の医学では、認知症を治すことはできません。ただ予防はできます。あるアルツハイマーの患者が、病に打ち克つ為に、まずは、敵を知らなければと、アルツハイマーを勉強したことがありました。その勉強したことが患者の予防になりました。つまり、頭を使うこと。生き甲斐を持つ、目標を持つことが認知症の予防になるのです。

もし、大切な人が認知症になったら、あなたはどうしますか？ずっと一緒に過ごしてきた人が、突然、おかしな言動、行動をとったらあなたはどうしますか？きっと、皆さんは、こう言います。「以前は、こんなことがなかったのに、どうして！」と声を荒げると思います。その人に対して、思い入れが強いほど、介護する人は深い悩みを持ちます。何回も同じこと、ありもしないことを言って！とあなたは思うかもしれませんが、でも、それが認知症なのです。認知症は病気です。ただ、ぼけて変なことを言っているわけではありません。病気がそうさせているのです。病気だから同じことを言うのです。病人に対して、あなたは叱り飛ばせますか？やさしく接してみてください。はじめは、慣れないことかもしれませんが、大切な人が話すことに耳を傾けてください。聞き取っているうちに、あなたは、その人との深い絆をもう一度感じるができると思います。

認知症患者は、ついさっきのことは忘れませんが、昔のことはよく覚えています。大切な人がもし認知症になったら、遠い昔の素敵な思い出を語り合ってください。大切な人はあなたに満面の笑顔で語りかけましょう。

介護に関して難しく考えることはありません。独りで介護を抱え込むことはありません。まずは、医療、介護スタッフにご相談ください。なにかお役に立てるはずですよ。

(週報担当：佐々木雅浩)